学校番号	414

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ⅱ （その１）	単位数	４単位のうち２単位	年次	２年次
使用教科書	新編数学Ⅱ（数研出版）						
副教材等	新課程　３ＴＲＩＡＬ 数学Ⅱ （数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。

・問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。

・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

(1) いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせようとする。
(2) 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用しようとする態度を育て、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 式と証明	第1節　式と計算 1　3次式の展開と因数分解 2　二項定理 3　多項式の割り算 4　分数式とその計算 5　恒等式	a: 式の形に着目して変形し，3次式の因数分解の公式を適用する形にすることができる。 b: 数学Ⅰで既習の2次式の展開公式を利用して，3次式の展開公式を導くことができる。 c: 因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
		第2節　等式･不等式の証明 1　等式の証明 2　不等式の証明	a: 実数の大小関係の基本性質に基づいて，自明な不等式を証明することができる。 b: 同値な不等式を証明することで，もとの不等式を証明することができる。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	
	第2章 複素数と方程式	第1節複素数と2次方程式の解 1　複素数とその計算 2　2次方程式の解 3　解と係数の関係	a: 複素数の四則計算ができる。 b: 2次方程式の解の符号に関する問題を，解と係数の関係を利用して解くことができる。 c: 2次式を複素数の範囲で因数分解することに興味をもち，問題に取り組もうとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
2学期		第2節　高次方程式 1　剰余の定理と因数定理 2　高次方程式	a: 因数分解や因数定理を利用して，高次方程式を解くことができる。 b: 多項式 $P(x)$ が $x-k$ で割り切れることを式で表現することができる。 c: 1の3乗根の性質に興味･関心をもち，具体的な問題に取り組もうとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物

	第3章　図形と方程式	第1節　点と直線 1　直線上の点 2　平面上の点 3　直線の方程式 4　2直線の関係	a: 与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。 b: 点の座標を求めるのに，図形の性質を適切に利用できる。 c: ある点を通り与えられた直線に平行な直線，垂直な直線の方程式を公式化し，利用しようとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
3学期	第6章　微分方と積分法	第1節　微分係数と導関数 1　微分係数 2　導関数とその計算 3　接線の方程式	a: 導関数の性質を利用して，種々の導関数の計算ができる。 b: 導関数を表す種々の記号を理解していて，それらを適切に使うことができる。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	
		第2節　関数の値の変化 1　関数の増減と極大･極小 2　関数の増減･グラフの応用	a: 導関数を利用して，関数の極値を求めたり，グラフをかいたりすることができる。 b: 方程式の実数解の個数を，関数のグラフと x 軸の共有点の個数に読み替えて考察できる。 c: 方程式や不等式を関数的視点で捉え，微分法を利用して解決しようとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
		第3節　積分法 1　不定積分 2　定積分 3　定積分と面積	a: 直線や曲線で囲まれた部分の面積を，定積分で表して求めることができる。 b: 微分法の逆演算としての不定積分を考察することができる。 c: 定積分の性質を利用して，計算がなるべく簡単になるように工夫して計算しようとする意欲がある。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度